

子ども達の可能性を伸ばし、自立と社会参加を 大分県立中津支援学校

〒871-0008
中津市大塚1番地
TEL.0979-22-0550



独自の実習システムで 一般就労をサポート

主に知的障がいの子とも達が通う中津支援学校には現在、小学部39名、中学部26名、高等部40名の生徒が在籍。過去7年間で、高等部職業生活科 職業コースの卒業生33名中30名の一般企業等への就職を実現させるなど、平成25年の開校以来、積極的に一般就労に取り組んできました。

なぜこんなにも一般就労率が高いのか。その答えは、独自の実習システムにあり



▲左から松田さん、教頭の阿南さん、岩田さん

チャレンジDAY

中津支援学校独自の实習システム。一般的な現場実習は、2~3週間連続して実施するが、チャレンジDAYは、毎週木曜に同じ企業へ6~8回断続的に実習へ出向き、その前後の授業で実習に関連した学習を行う。現場実習が「働く力のテスト」であるのに対し、チャレンジDAYは「多くの職業を体験することで職業特性や自分の職業適性を知り、自己理解を高めるための機会」と目的に違いがある。

ます。平成27年、先進県で実施している座学と実習を紐付けて生徒達の働く力を高める実習システムを参考に、当校独自の「チャレンジDAY」を導入しました。これは、高等部でこれまで実施していた現場実習とは別に、毎週木曜(チャレンジDAY)に実習に出向くというもので、短期間でたくさん職場を体験できるのが特徴。自分の向き不向きを知り、自己理解を高めることにつながります。そう教えてくださったのは進路支援部主任の岩田

さん。生徒達はチャレンジDAYで多くの気づきを得て、模索しながら、本当に自分に合う職場(＝適性に合った長く働ける職場)を見つけるのだといいます。また、生徒と企業の思いが合致した場合はチャレンジDAYと現場実習を同一企業にすることも多く、企業側にも「生徒をより深く理解した上で、実習、雇用できる」というメリットがあります。

知の学び 障がいへの理解が深まる

チャレンジDAYのスタートに伴い、受け入れ先の企業開拓を行ったジヨブ・コングラターの松田さんは苦労も多かったといいます。「生徒の数だけ実習先が必要ですから最初は大変でした。重度障がいやイメージして受け入れを躊躇する企業も多くて。ただ、実際は配慮すれば就労に問題のないレベルの子がほとんどですから、一度受け入れた企業はほぼ継続してくれました。説明、実習を繰り返し、徐々に企業、そして地域全体の障がいへの理解が深まっていったように思います。」

地道な努力が実り、現在、協力企業は約50社。チャレンジDAYを経て就職した生徒は定着率も高く、昨年は念願の卒業



▲校長の渡辺さん

生を招いた講演会も開くことができました。「生徒には先輩の話が一番響くように、皆、真剣な表情で聞いていました。仕事の大変さ、給料の使い道、休日の過ごし方、中には親御さんに初任給でプレゼントを買ったことなど、胸を打つエピソードもあり、私たちも、ああ、周りにこんなに感謝できるようになったんだ、成長したんだと嬉しくなりました。」創立10周年を迎えた中津支援学校。積み重ねてきたものが芽吹き、横のつながり、縦のつながりが生まれ、企業から企業へ、企業から地域へ、先輩から後輩へという循環が生まれています。最後に「障がい者雇用に迷っているようなら、まずは学校訪問や実習で、ぜひ生徒達を見てあげてください。きつとイメージが変わると思います」その声を揃えた校長の渡辺さんと教頭の阿南さん。先入観を捨て、正しく理解すること、一歩を踏み出すことで、生徒の、そして企業の未来は大きく広がっていきます。

高等部 職業コースのフロー図

1年生

- 現場実習1回
- 職業生活科コース選考
以下を踏まえ、2年時のコース(普通or職業)を選択します。
- ✓作業学習の評価
- ✓現場実習の評価
- ✓本人、保護者の意向etc.

2年生

- 普通コース
現場実習2回
- 職業コース
現場実習3回
毎週木曜日「チャレンジDAY」の実習

3年生

- 希望に応じてコースの見直しも可能
- 普通コース
現場実習2回
 - 職業コース
現場実習2回※通常2週間→3週間に拡大
毎週木曜日「チャレンジDAY」の実習

知的障がい、職業コース

1年生

- 現場実習:食品加工工場
初めての職場実習にあわせて、JRを使った通勤も体験

Aさんの実習履歴

食品加工や自動車関連工場、小売店舗などで様々な職業を体験した後、最終的に建設会社へ就職。

2年生

- 1学期
チャレンジDAY:コロナ禍で中止
現場実習:自動車の町工場
- 2学期
チャレンジDAY:小売店舗
現場実習:福祉施設
卒業後は一人暮らしを希望していたため宿泊を伴う現場実習を実施
- 3学期
チャレンジDAY、現場実習:造園会社
身体を動かす仕事を希望していたのと、会社側も求人意欲が高かったため就職を見据え、同じ場所で実習

3年生

- 1学期
チャレンジDAY:建設会社
現場実習:自動車関連工場
工場で実習をした結果「一箇所にずっと立って仕事するのは向いてない」と改めて認識
- 2学期
チャレンジDAY、現場実習:建設会社
1学期のチャレンジDAYで行った建設会社への就職を視野に、再び同じ職場へ
- 3学期
チャレンジDAY:建設会社

●建設会社へ就職決定

